

キソ水抜き栓

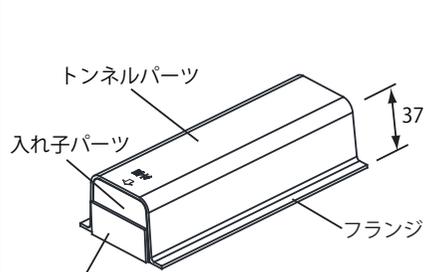
DHP35-150 (基礎幅150mm用)

取扱説明書

⚠ 取り扱い上の注意

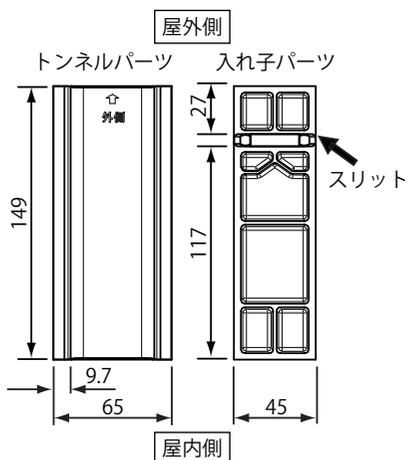
- 必要な安全対策 (保護メガネ、ヘルメット、保護手袋、安全シューズなどの装着) を確実に講じて作業を行ってください。
- キソ水抜き栓は樹脂製です。火のそばに置いたり、100℃以上の高温にさらすことはおやめください。またシンナー、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤をかけたり、それらを布につけて拭いたりしないでください。変形したり、変色することがあります。
- キソ水抜き栓は樹脂製のため、氷点下での保管や使用は避けてください。衝撃を加えると割れることがあります。
- 破損の原因になるため、施工目的以外でキソ水抜き栓に強い衝撃を加えることはおやめください。

キソ水抜き栓 外観



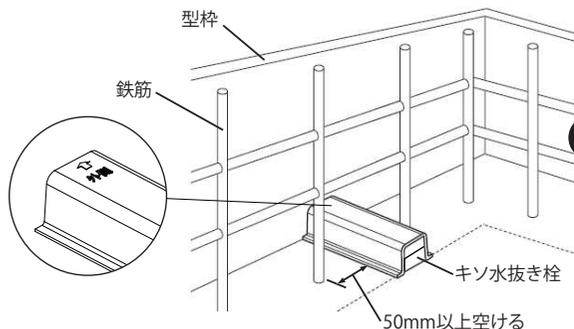
オレフィン系複合樹脂
1個 120g、
1箱 50個入りです。

平面図 (単位:mm)



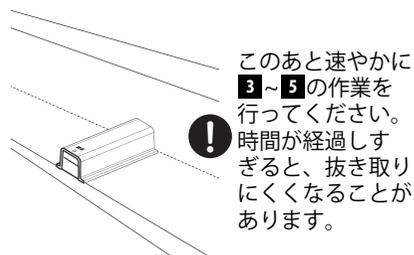
施工手順

- 1 基礎土間が乾いていることを確認し、キソ水抜き栓を設置してください。設置後、もう一方の型枠及び立ち上がりのコンクリートを施工します。

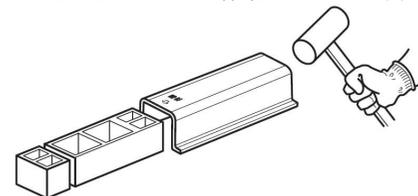


鉄筋とキソ水抜き栓は50mm以上の間隔を空けて設置してください。

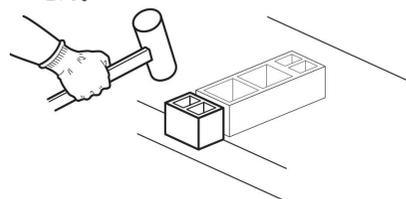
- 2 型枠を取り外します。
※マーク (自印のスポンジ材) を目印にして設置箇所をご確認ください。



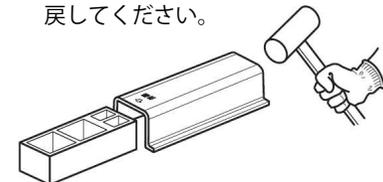
- 3 屋内側よりハンマー等で入れ子パーツの側面を軽くたたき、スリットの部分まで押し出してください。
※このとき屋外側に押し出すと、このあとのカット作業がスムーズです。



- 4 押し出し後、スリットの部分をハンマー等でたたいてカットします。カットした部分は処分しても構いません。



- 5 入れ子パーツを完全に抜き取ります。
※基礎屋内側の水を抜かない場合は、入れ子パーツをトンネルパーツに戻してください。

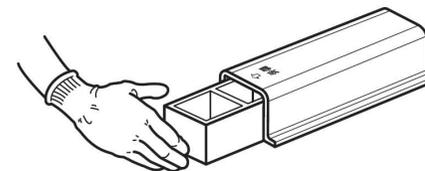


入れ子パーツはまた元に戻しますので、処分しないようにしてください。

- 6 ほうき等で排水作業を行ってください。



- 7 入れ子パーツを屋外側からトンネルパーツ内に戻します。



- 8 屋外側よりモルタルにて穴をふさいでください。

